



「深山遊鹿」(孝太郎) 個人蔵

# 寺澤孝太郎 展

角館町出身の日本画家

2021 6.6 日 → 7.19 月・祝

【会期中無休】◎同時開催:常設展 平福穂庵・百穂展

仙北市立角館町平福記念美術館

〒014-0334 秋田県仙北市角館町表町上丁4-4 TEL.0187-54-3888 FAX.0187-54-3890

午前9時～午後5時(入館は4時30分まで)

入館料/一般(高校生以上)300円 小人(中学生以下)200円 ※仙北市民は無料







てらさわこうたろう

寺澤孝太郎(1884-1959)は仙北市角館町出身の日本画家です。10代後半の時、画家を目指して角館から上京し、川端玉章かわばたぎょくしょう一門の社中である天真社系の画塾に入門。その後、太平洋画研究所で洋画を学び、文展等に出品。洋画から再度、日本画に戻った際に、同郷出身の日本画家・平福百穂ひらふくひゃくすい(1877-1933)に師事しました。画号が多いことでも知られ、初期の柳江りゅうこうから始まり、黙雨もくう、大潤たいじゆん、彭澤ほうたく、孝太郎と名乗りました。

今回、所蔵作品、寄託作品をはじめ、ご遺族から寄贈いただいた作品、そして地元の孝太郎愛好家の方々からお借りした作品を展示します。号が多いだけあって、同じ人物が描いたのかなと思うほど、時代によってタッチが異なる作品もあり、号の変遷と共に作品が変化していく様子も感じることができますので、ぜひこの機会に故郷が誇る郷土画人・寺澤孝太郎について、知っていただけると幸いです。



「童子図」(柳江)



「春巒松林」(黙雨)個人蔵



「猿」(彭澤)個人蔵



「雪景」(孝太郎)個人蔵



「軍鶏」(孝太郎)



「早春」(大潤)個人蔵

### ご来館の皆様へご協力をお願い

- マスクを着けてのご入館、咳エチケットの徹底をお願いします。
- 入館の際、設置してある消毒液で手指の消毒をお願いします。
- 他のお客様とは1~2m程度の距離をお取りください。
- 館内での会話はお控えください。
- 作品、展示ケース、壁には手を触れないでください。
- 37.5℃以上の発熱や風邪症状(せき、くしゃみ、喉の痛みなど)のある方、だるさ・息苦しさがある方は入館をご遠慮ください。
- 入館時に体温チェックを行いますので、37.5℃以上の方は入館をご遠慮ください。
- 展示室内の混雑状況によっては、入館を制限させていただく場合があります。